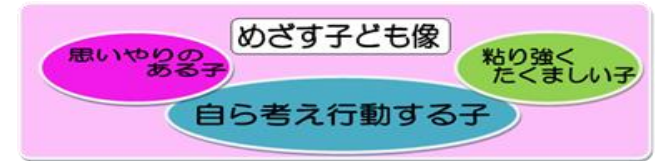




めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校
みんなが安心できる居心地のいい学校
開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校）



令和元年（2019年）5月29日 発行・野畑花だよりは、野畑小学校のホームページでもご覧いただけます。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nobatake/

いつもここに **のほたけ** **のびのび 野畑 合言葉** **は** **バリアフリーで 笑顔がいっぱい** **た** **体験 楽しい 学びたい** **け** **計画立てて 相談 確認**

参観・総会 ありがとうございました。

お忙しい中、たくさんの皆様に御来校いただき、ありがとうございました。今年度初めての参観ということで、子どもたちも先生も、朝から大張り切りでした。子どもたちの頑張り、一杯見ていただけましたでしょうか。

参観の設定授業だけでなく、朝からいろいろな授業を見に来てくださった保護者の皆様もいらっやととてもうれしかったです。本校は、参観日やオープンスクールとして決まった日時をお知らせしている授業参観は、学期に一度と少ないです。

今年からは、「学校に行くことが多すぎて負担だ」という保護者の皆様の負担軽減を考え、2年生から5年生までは学年集会をなくしました。決められた時間は難しくても、それぞれの皆さんの都合に合わせて、エプロンさえつけていただければ、いつでも授業を見ていただける体制を整えています。お仕事やおうちのことなどで忙しくて決められた時間には見に行けないけど、学校の様子を知りたいと思ったださる皆さんはぜひ10分でも20分でも時間ができたときに、学校にお立ち寄りください。

参観の後は、PTA総会でした。役員・運営委員の皆様、ご参加くださった皆様、お疲れ様でした。今年1年よろしくお願ひいたします。旧役員運営委員の皆様1年間ありがとうございました。

総会の前には、本年度の野畑小学校がめざす教育について、お話しさせていただきました。

学級担任だけでなく、すべての教職員がチームで育てる教育

- ・教科担任制
- ・高学年の少人数学級編成
- ・どんな子どもにも居場所がある学校
- ・児童生徒支援加配
- ・スクールカウンセラー、臨床心理士
- ・相談窓口 6849-7676

教科担任制 担任一人ですべての教科を教えるのではなく、いろいろな先生が交代で得意分野の授業をすることによって、より楽しく変化のある授業をつくり、子どもたちの学習意欲を高める工夫をしています。この取り組みによって、子どもたちが何か困ったことがあるとき担任の先生以外にも相談できるという効果もあります。

高学年の少人数学級編成 低学年は、学校生活の基本的な生活習慣を身に付けるとき。中学年は、集団の中でいっぱい失敗したり喧嘩をしたりして、いろいろな経験をするとき。そして、高学年は4年生までの経験を生かして、学び方や人との付き合い方を主体的に考え行動するとき。本校では、この時期を丁寧に大切に過ごし、基礎固めをして中学校へとつなげるために、国基準では3クラス編成の5・6年生を、豊中市の学校教育充実支援事業と校内の弾力的運用で4クラスにしています。

どんな子どもにも居場所のある学校 子どもたちにはいろいろな特性があります。どんな子どもも安心して過ごせる居場所がある学校をめざしています。今年、児童生徒支援加配も配置され今まで以上に丁寧な取り組みをしたいと考えています。第十四中学校のスクールカウンセラーと教育センターの臨床心理士も月一回派遣されます。相談窓口(6849-7676)で相談予約できます。

新しい時代に必要となる資質・能力

- 1) 「何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）」
- 2) 「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」
- 3) 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）」

新教育課程に向けて

- ・ 特別の教科「道徳」 教科書を中心とした教材を使った授業
- ・ 外国語（英語）2020年度より
 - 5・6年生は年間70時間→教科
（今年度は外国語の時間で35時間、総合的な学習の時間で15時間）
 - 3・4年生は年間35時間→外国語活動
（今年度は総合的な学習の時間で15時間）
 - 来年度より3～6年生は年間35時間（週1時間）の授業時数増
- ・ 特別の教科「道徳」、外国語（英語）・・・5・6年生のびゆくこどもに評価

令和元年度（2019年度）豊中市立野畑小学校

チームのほたけ

こどもたちをチームで育み、**思いやりがあり自ら考え行動し粘り強くたくましい子**を育てるために、次のような取り組みを進めています。



階段にアルファベットや国の名前をはったり、英語ルームの掲示を工夫したり、日常的に外国語(英語)に触れあえる工夫をしています。

校内研究主題



「主体的・対話的で深い学び」をめざした
子どもが**つながる授業づくり・集団づくり**

月1回学年研究会を開く

目の前の子どもたちに必要な力をつけるための提案
授業を行う

年6回の校内研究授業・研究会の実施

水曜日を13:30下校にして実施しています

今日5月28日は、4年3組で、外国語（英語）の研究授業をします。

学力向上を願って

少人数指導

算数

放課後算数教室

はてなの森

ICT活用

主体的な
学びの充実

力試しテスト

算数アンケート

探求の喜び

プログラミング

本年度の学校経営の重点

(1) 互いに認め合い、高め合う学校

- ① 教職員がともに学びあい、児童の主体的な学びを育てる授業づくりをする。
- ② 野畑小学校の子どもを学校全体で育てられる学校教育体制を整えるための研究を行う。
- ③ 新学習指導要領本格実施に向けてのカリキュラムマネジメントを行う。
- ④ 教職員の人間力・指導力・授業力をスキルアップするための研修を行う。
- ⑤ 子どもたちが体験を通して学びたいと思う授業づくりを行う。
- ⑥ 子どもたちの知的好奇心にこたえる学習環境（ICT・図書館等）をより充実させる。
- ⑦ 全学年で、教科担任制を行う。
- ⑧ 医療的ケアモデル校として、本校の教育実践を広める。

(2) みんな（児童・保護者・教職員）が安心できる居心地のいい学校

- ① いじめを見逃さない学校体制をつくる。
 - ・ 子どもたちの様子を全教職員で話し合い、指導するための会議をより充実させ、学級担任だけでなく、学校全体で組織的に児童の指導を行う。
 - ・ 教育相談員派遣や巡回相談制度を積極的に活用し、関係機関や専門家との連携を図る。
- ② 互いを大切に子ども集団をつくる。
 - ・ 大人から丁寧な言葉遣いや元気の挨拶の実践をする。
 - ・ **児童会が主体となってルールについて話し合い、守ろうとする姿勢を育てる。**
 - ・ 自分の想いを伝えられる子どもを育てる。
- ③ 気持ちの良い教育環境をつくる。
 - ・ 清掃指導を大切に、子どもたちとともに学校をきれいにする取り組みをする。
- ④ ゆとりある教育課程をつくる。
- ⑤ 教職員全員が高い危機意識を持ち、児童の安心安全の確保に努める。
- ⑥ 児童生徒支援加配を中心に、学校が楽しい・授業が楽しい・困ったとき相談できる人が学校にいる・自分で計画することが好きという児童を育てる。

(3) 開かれた学校

学校・家庭・地域が**つながりあうこと**を大切に学校

- ① 参観日でなくても都合のつく時間に学校に来てもらっているのだと情報発信する。
- ② 計画的な学校運営と丁寧で迅速な情報発信をする。
- ③ 「野畑はぐくみ隊」の活動を充実させ、学校・家庭・地域が子どもを中心につながりあう関係を築く。

2. 学習指導及び生活指導の重点

- ・ 命の大切さを基本にして、障害のある子、学習につまずきのある子、学校(学級)になじめない子、生活指導上配慮を要する子を大切に**する指導**につとめる。
- ・ 授業づくりを柱に、学習指導全体を見通したカリキュラムを作成する。
- ・ **学力向上のための取り組みを推進する。**
 - ①健康安全指導の充実
 - ②人権学習指導の充実
 - ③各教科学習指導の充実
 - 生涯を見据えた学び方の基礎を培うため、体験的・問題解決的な学習指導法を取り入れ、個性をいかし、主体性を学ぶ授業を追求する。

- 評価や指導方法の改善を図り、自ら学ぶ・共に学ぶ意欲・態度・技能・能力の育成につとめる。
- 基礎的、基本的な学力の定着を図るため授業時数の確保につとめ、協力指導体制の充実と授業の工夫改善を図る。
- 学校図書館・コンピュータ・視聴覚機器・デジタル教材等の活用を積極的に行い、学ぶ意欲が育つ授業を創造する。

④道徳教育の充実

⑤外国語活動の充実

- 中学校と連携して、本校の英語教育の基礎を組み立てる。

⑥総合的な学習の時間の精選と充実

⑦特別活動の充実

- **児童議会を充実させ、計画性のある調和のとれた委員会活動を行う。**
- 生活指導と連携し、児童が主体的に学校生活について考える活動を行う。
- 学校行事を大切な特別活動として位置づけ意義のある行事となるよう計画を立てる。

⑧生活指導の充実（全職員が同じ姿勢で継続して取り組む）

- 基本的生活習慣の定着を図る。
 - あいさつ・ルールの確立・当番活動・生活目標・「遊び」の保障
- 児童理解に努め、一人ひとりを大切にしたい楽しい学級(学校)を創造する。
- 不登校・いじめ・虐待・体罰・セクハラ等を生まないための方策を検討する。
- 配慮(支援)を要する児童の指導・援助を協力体制のもとに行う。
- 教育相談・児童支援員の配置・研修など専門機関との連携を密にする。
- 地域の組織やPTA等との連携を一層深める。

⑨教育環境の充実

- 教育環境の充実を図るため、学校予算の有効活用につとめる。
- 校内の環境整備につとめる。
- 児童の美化意識を高め、積極的な校内清掃活動を図る。
- 栽培活動を通して、働く喜び・育てる喜びを培うと共に校庭の美化を図る。